



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 4 号
令和 2 年 5 月 20 日

休校中の生徒の皆さんへ

校長 古市 直彦

新型コロナウイルス緊急事態宣言を受け、学校の休校期間が延長されていますが、本校では、5月7・8・11日の3日間で、個別相談日を設けました。参加は任意のものでしたが、全校では69.1%の生徒が元気な笑顔を見せに来てくれました。子どもたちのいない学校の寂しさを痛感している毎日が続いていた我々教職員も、久しぶりに子どもたちの笑顔に出逢うことができ、元気をもらうことができました。



今回の校報「若松中だより」では、各学年職員からのメッセージを贈りたいと思います。

広い場所での個別相談

待っている時間も「3密」を避けて…

しっかりと輝くために

第3学年主任

中学校生活ラストの1年・・・最高学年に進級し、より一層学習に部活動に、そして最後の行事にと、気持ちが入っていたところでの全国学校一斉休校そして緊急事態宣言。今まで誰も経験したことない非常事態に、日本だけでなく世界全体が混乱する生活が未だ続いています。全国民の努力や医療従事者の方々の方々の涙ぐましい活躍のおかげで終息の兆しが少しずつ見えはじめているところですが、もうひと頑張りです。自分の健康を第一に考えた生活を引き続き心がけていきましょう。

また、大切なのは今の状況をプラスに考え、与えられたこの時間を、自分を磨くための貴重な時間とし有効活用することです。学校のため、クラスのため、また自分のために磨いてきたこの2年間の生活をしっかりと振り返り、成果は更に伸ばせるように、課題はきちんと改善できるように整理しておいてください。そして、学校生活が再開した時に一人一人がしっかりと「輝く」準備をしておいてください。

伝説の学年～最終章～ みんなにとって人生の中で節目の1年。
今こそ、学年全員 **～心は一つ～** に、スタートしたら思いっきり「輝く」1年にしましょう



計画時に 有意義に

第2学年主任

2年生の皆さん。体調に変わりはありませんか？ 学校が再開されたら中堅学年としての自覚をもって生活し、最高の思い出をたくさん作っていきましょう。

今、大切なことは、普段学校生活を送っている時間を、計画的かつ有意義に過ごすことです。2年生の先生方は、2つのことを意識して欲しいと思って課題を出しました。

1つ目は、1年生で学習した内容をしっかりと理解する時間にしてほしいことです。課題の多くは、1年時のワークや問題集です。この期間を利用して確実に理解することで、2年生の学習も

スムーズに入ることができます。また、受験勉強にもつながります。復習してわからないところは、教科書やノートを見返したり個別の相談日に先生に聞いたりしてください。1年生の末履修の内容は、学校が再開したら学習しますので予習しておきましょう。

2つ目は、自宅ですることをやってほしいことです。是非、お家の人のお手伝いをしてください。また、ゆっくり時間をかけて美術の課題（発想力をいかした絵）に集中して取り組んでください。

また、皆さんと元気な姿で会えるのを楽しみにしています。



当たり前のごことに感謝ができる人に

第1学年主任

「きれいに咲いた桜の木の下で、クラスの写真を撮りたいですね。」こんな話を、学年の先生方と話していました。気づけば、学校の桜の木には青々とした若葉が顔を出しています。数か月前には、まさか新学期がこんなスタートになるとは思っていませんでした。新入生の皆さんと一緒に希望を胸に新生活を送ることを夢見ていました。

休校期間が長引くにつれて、毎日皆さんと顔を合わせて話をしたり、授業をしたり、部活動をしたりする時間が、私にとってとても大切な時間だったと気付かされました。失ってみてはじめてわかる大切さというものです。そういった毎日が過ごせることは、とても幸せなことなんだと感じています。

さて、おそらくもう少しで休校期間が終了し、新生活が始まります。休校期間で何を学び、何を新生活に生かしていくか。これが大切なことです。何気なく過ごす日々が送れることが、どれだけ幸せなことか。感謝の心をもって、充実した時間が過ごせるよう、頑張っていきましょう。



その日を楽しみに

8組主任

今年度は教室が新しくなり、初めて3学年揃う8組。楽しみにしていたのに、学校が始まらないまま気がいたらもう5月も半ばをすぎています。生徒の声が聞こえない教室が、こんなに寂しいものだと…。皆さんはどうしているのでしょうか。友達とも会えず、出かけることもできずに辛い思いをしているのではと、心配しています。

私の好きなお話に出てくる女の子が、こんなことを言っています。「人生はビスケットの缶だと思えばいいのよ」缶の中にはいろいろなビスケットが入っていて、好きなのとあまり好きじゃないのがある。それで、先に好きなのをどんどん食べてしまうと、あとは好きじゃないのばかり残る、ということです。だから、「辛いことがあるといつもそう思うのよ。今これをやっておくと後になって楽になるって」と。今、我慢して好きじゃないビスケットを毎日食べている皆さんの缶には、きっと好きなビスケットがたくさん残っているはずですよ。学校が始まったら、挑戦してみたいことや、楽しみなことがたくさんあります。一緒においしいビスケットが食べられる日を、楽しみにしています！



別紙でお知らせしましたように、千葉市では、学校再開に向けて段階的・分散的に個別相談日や登校日を設けてまいります。学校に子どもたちの元気な姿が戻ってくる日も、もうそこまで近づいています。受け入れ体制は、しっかりと整えていきたいと思っておりますが、保護者の皆様にご協力をいただく部分もあると思っております。どうぞよろしくお願いいたします。